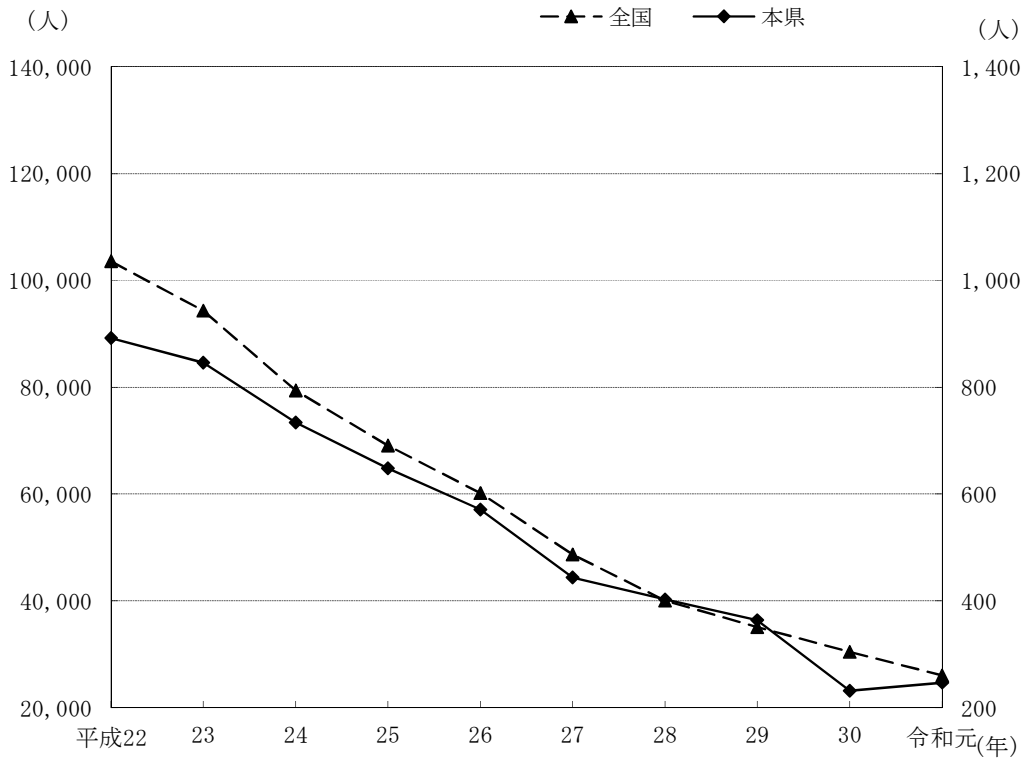


第8章 非行

1 刑法犯少年及び触法少年（刑法）の検挙・補導状況

(1) 年次別推移



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
本県	892	846	734	648	571	444	403	364	232	247
全国	103,573	94,312	79,393	69,061	60,207	48,680	40,103	35,108	30,458	26,076

資料：県警察本部

<247人の内訳>

小学生：48人 (19.4%)	中学生：81人 (32.8%)	高校生：64人 (25.9%)
他生徒：4人 (1.6%)	有職：37人 (15.0%)	無職：13人 (5.3%)

※刑法犯： 窃盗犯(155人)，粗暴犯(33人)，風俗犯(10人)，凶悪犯(4人)の順

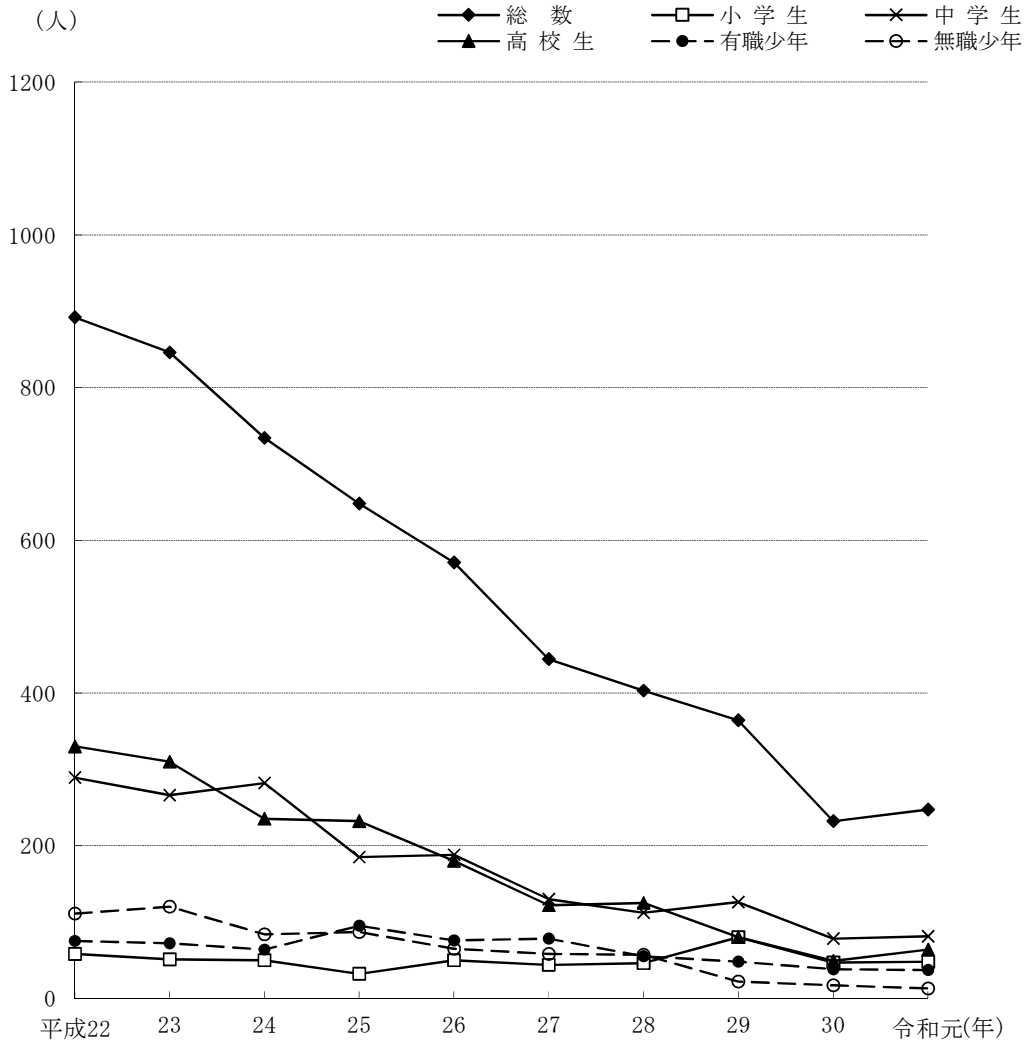
(2) 罪種別推移

(単位：人)

年		平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
刑法犯	凶悪犯	8	14	3	8	2	3	11	2	12	4
	粗暴犯	61	63	57	59	98	69	43	46	23	33
	窃盗犯	675	651	560	482	393	316	294	258	166	155
	知能犯	6	2	3	4	1	0	9	1	1	1
	風俗犯	5	8	13	13	3	4	3	11	4	10
	その他	137	108	98	82	74	52	43	46	26	44
計		892	846	734	648	571	444	403	364	232	247

資料：県警察本部

(3) 学職別推移



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	
総数	892	846	734	648	571	444	403	364	232	247	
未就学児	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
学生 生徒	小学生	58	51	50	32	50	44	46	80	47	48
	中学生	289	266	282	185	188	130	112	126	78	81
	高校生	330	310	235	232	180	122	125	80	49	64
	その他	29	27	19	16	12	12	8	8	3	4
有職少年	75	72	64	95	76	78	55	48	38	37	
無職少年	111	120	84	87	65	58	57	22	17	13	

資料：県警察本部

平成31年、令和元年中に検挙・補導された刑法犯少年は160人、触法少年(刑法)が87人で計247人、前年に比べ15人増加した。

2 シンナー等薬物乱用少年の検挙・補導状況

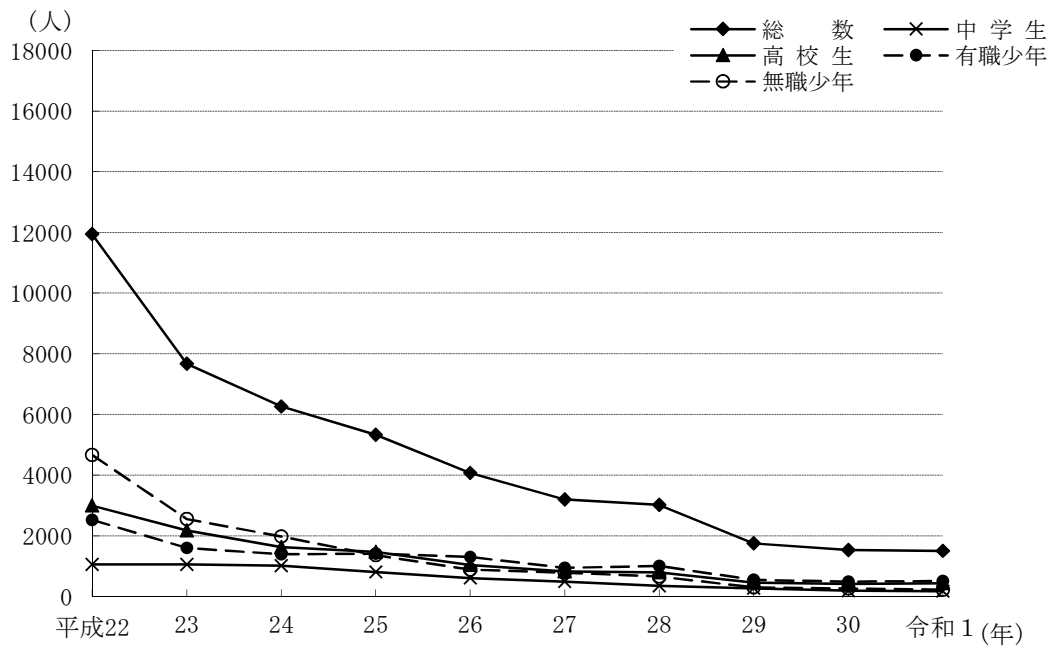
(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
総数	2	0	0	1	2	2	1	1	0	2
生徒 学生	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他学生	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	1
有職少年	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0
無職少年	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1

資料：県警察本部

3 ぐ犯・不良行為少年の補導状況

(1) 学職別・年次別推移



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和1	
総数	11,939	7,666	6,264	5,333	4,067	3,198	3,020	1,752	1,535	1,506	
未就学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生徒学生	小学生	41	48	33	30	53	35	32	17	26	21
	中学生	1,058	1,059	1,013	805	613	486	352	275	195	173
	高校生	2,995	2,176	1,636	1,468	1,038	829	800	461	416	442
	大学生	308	96	88	79	81	50	86	69	76	64
	その他	347	127	123	167	92	65	89	70	73	63
有職少年	2,526	1,606	1,391	1,417	1,303	943	1,003	554	491	515	
無職少年	4,663	2,554	1,980	1,367	887	790	658	306	258	228	
(うち、ぐ犯少年)	24	11	13	2	11	7	6	3	13	13	
(うち、不良行為少年)	11,915	7,655	6,251	5,331	4,056	3,191	3,014	1,749	1,522	1,493	

資料：県警察本部

ぐ犯・不良行為少年は、前年に比べ29人(1.89%)減少している。

不良行為少年を行為別にみると「喫煙」、「深夜はいかい」の順で多く、両行為で83.7%を占めている。

不良行為少年の学職別では「有職少年」、「高校生」の順で多く、両者で63.5%を占めている。

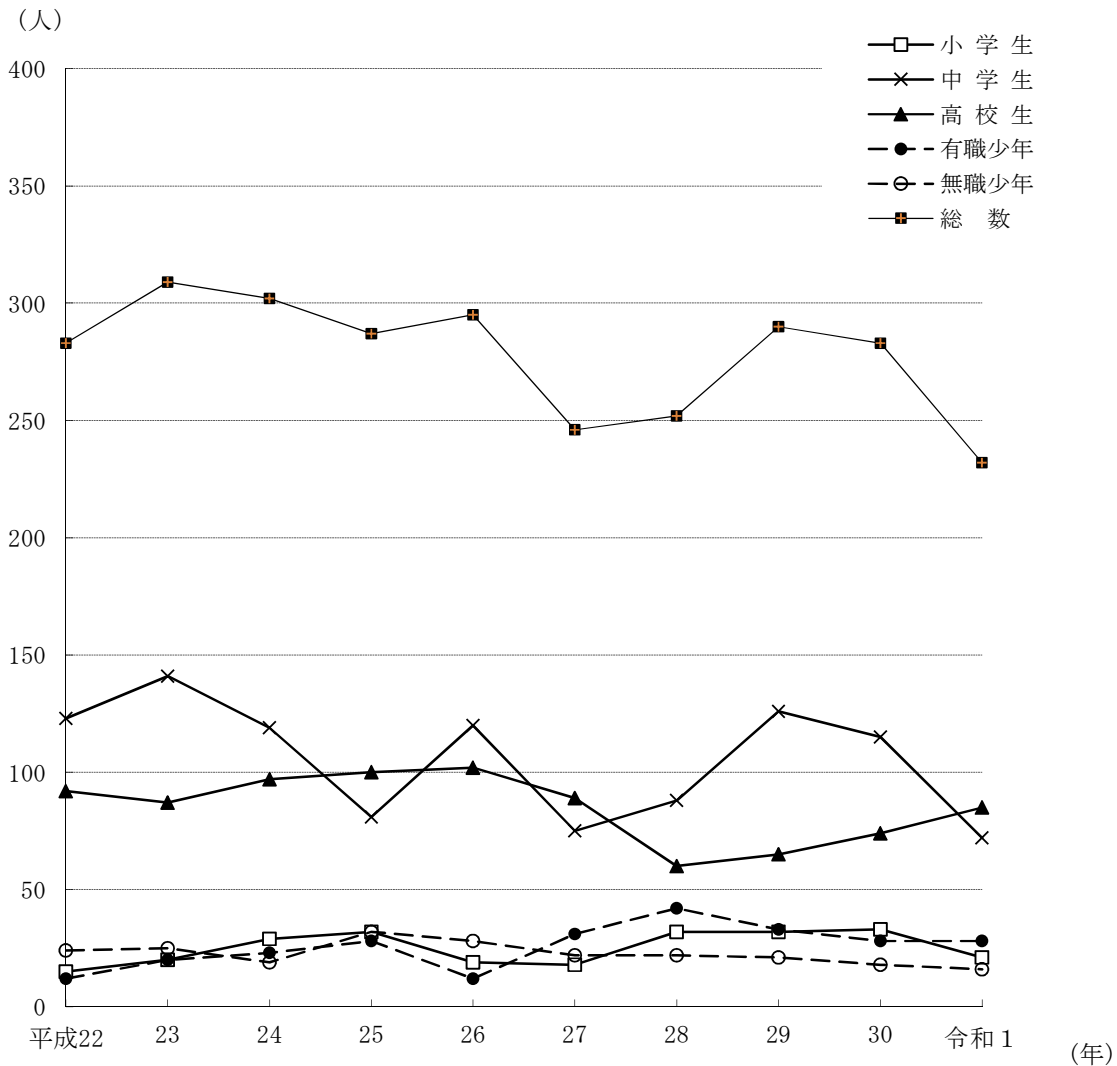
(2) 平成30年中不良行為ワースト5
(不良行為少年総数 …… 1,522 人)

- ① 喫煙 711 (46.7%)
- ② 深夜はいかい 523 (34.4%)
- ③ 飲酒 138 (9.1%)
- ④ 家出 75 (4.9%)
- ⑤ 怠学 30 (2.0%)

(3) 令和元年中不良行為ワースト5
(不良行為少年総数 … 1,493 人)

- ① 喫煙 662 (44.3%)
- ② 深夜はいかい 588 (39.4%)
- ③ 飲酒 110 (7.4%)
- ④ 家出 47 (3.1%)
- ⑤ 不健全娯楽 19 (1.3%)

4 行方不明少年の状況



(単位：人)

年	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和1	
未就学	4	4	7	7	8	3	4	3	8	6	
生徒	小学生	15	20	29	32	19	18	32	32	33	21
	中学生	123	141	119	81	120	75	88	126	115	72
	高校生	92	87	97	100	102	89	60	65	74	85
	その他	13	12	8	7	6	8	4	10	7	4
有職少年	12	20	23	28	12	31	42	33	28	28	
無職少年	24	25	19	32	28	22	22	21	18	16	
総数	283	309	302	287	295	246	252	290	283	232	

資料：県警察本部

令和元年中に警察で受理した行方不明少年は232人で、前年に比べ51人(18.0%)減少している。

5 サイバー補導の状況

(単位：人)

年	平成27	28	29	30	令和1
18歳未満	4	3	7	3	10
18歳以上20歳未満	3	6	4	3	3
計	7	9	11	6	13

資料：県警察本部（令和1年末現在）

※平成25年10月開始

※サイバー補導とは、児童が援助交際を求めるなどのインターネット上の不適切な書き込みをサイバーパトロールによって発見し、書き込みをした児童と接触して、直接、注意・指導すること